

東山魁夷館

1990年に開館した東山魁夷館は、画家本人から寄贈された作品に加え、後に収集、寄贈された作品を含めると所蔵点数は970点あまり。2023年度は、《緑響く》や《白馬の森》、《行く秋》など本制作30点あまりを5期に分け、日本の古都を描いた「京洛四季」や「大和春秋」の連作、ヨーロッパの自然や街並みを描いた風景シリーズ、「白い馬の見える風景」や「唐招提寺御影堂障壁画」の準備作など、自然を深く見つけ、静謐な世界を表現した東山芸術の全容を、制作過程などと併せてご紹介します。

I期 2023
4/13[木]—6/20[火]

連作「白い馬の見える風景」の起点となった代表作《緑響く》や、東山が約10年をかけて「唐招提寺御影堂障壁画」の制作に取り組む中から生まれた《桂林月夜》、《瀧江暮色》、《黄山雨過》など、モノクロームの世界を中心に紹介します。また、絶筆となった《天星》を展示します。



《緑響く》1982年

II期 2023
6/22[木]—8/22[火]

連作「白い馬の見える風景」から《水辺の朝》、《草青む》とその習作群をはじめ、《沼の静寂》、《緑の窓》など夏の風景を描いた作品や、《石の窓》やドイツ・オーストリアの旅で得られたスケッチや習作をご紹介します。



《草青む》1972年

III期 2023
8/24[木]—10/31[火]

学生時代の東山が志賀高原を描き帝展に出品した《山谿秋色》や、《紅驕》、《紅葉の谷》、大和路への取材から生まれた《秋思》など、東山が描いた様々な秋の風景をご紹介します。また、ドイツに取材した《窓》や、フランスの公園を描いた《静唱》などをご覧ください。



《山谿秋色》1932年

IV期 2023
11/2[木]—1/16[火]

連作「白い馬の見える風景」のうち最大の作品《白馬の森》を中心に、楓の落葉が黄金色に敷き詰められた《行く秋》、幻想的な雰囲気漂う《夕紅》、《木枯らし舞う》など晩年描いた秋の景色などを展示します。



《白馬の森》1972年

V期 2024
1/18[木]—4/9[火]

長野県の厳しい冬の様相を描き出す《霧氷の譜》や《冬の旅》をはじめ、春の訪れを描いた《春兆》や、《祭りの夜》、《柿生の里》など、学生時代の初期の作品をご紹介します。

※諸般の事情により会期を延長いたします。



《霧氷の譜》1985年

観覧料 | 本館・東山魁夷館共通 / 一般700円、大学生及び75歳以上500円
ギャラリートーク | 各日とも14:00～5/20[土]、7/15[土]、9/16[土]、11/18[土]、2024.3/16[土]

■ 利用案内

開館時間 美術館 開館9:00 閉館17:00(展示室入場は16:30まで)
屋上広場 原則、夜間及び休館日は閉鎖します

休館日 水曜日
(但し、5/3、2024.3/20は祝日のため開館し、翌平日の2024.3/21は休館します)
年末年始(12/27-1/3)

入館料 企画展は、展覧会により異なります
コレクション展(本館・東山魁夷館共通)
一般 700(600)円、大学生及び75歳以上 500(400)円
高校生以下又は18歳未満 無料
※ 割引の併用はできません
※ ()内は20名以上の団体割引及び各種割引
※ 身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と付き添いの方1名は無料
※ 大学生及び75歳以上の方は身分が確認できるものを提示ください

■ アクセス 長野県立美術館には、一般来館者の駐車場はありません。東山魁夷館北側に隣接する駐車場は、大型バス、障がいのある方など「信州パーキング・パーミット制度」にて指定された方の専用駐車場です。

美術館周辺の駐車場は混雑が予想されます。
公共交通機関のご利用をお願いします。

◎公共交通機関

JR長野駅善光寺口バス乗り場①から、アルピコ交通バス(11系統善光寺経由宇木行/16系統善光寺・若槻団地経由若槻東条行/17系統善光寺・西条経由若槻東条行)で「善光寺北」下車(所要時間約15分)。バス進行方向徒歩約3分。

JR長野駅善光寺口バス乗り場①及び⑦の善光寺経由のバス、もしくは善光寺行き「びんずる号」で「善光寺大門」下車(所要時間約13分)、表参道を善光寺本堂方向に歩き、本堂を右方向、城山公園へ徒歩約10分。

長野電鉄「善光寺下駅」下車、城山公園へ徒歩約15分。



※諸般の事情により、会期、イベント内容などに変更が生じる場合があります。
最新情報については当館ホームページをご確認ください。

長野県立美術館

〒380-0801 長野市箱清水1-4-4(城山公園内・善光寺東隣)
TEL.050-5542-8600(ハローダイヤル)FAX.026-232-0050
https://nagano.art.museum/



プラチナパートナー 信濃毎日新聞

MUSEUM CALENDAR

2023.4—2024.3

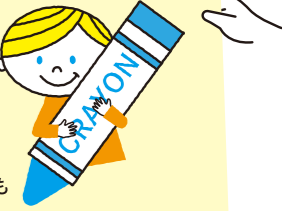
NOM
長野県立美術館

子どもアートラボ

絵の具や粘土、木材などの身近な素材を用いた月1ワークショップです。

2023年4月-2024年3月までの
毎月第2土曜日 10:00-15:00

対象 | 3歳以上の子どもから大人までどなたでも
※ワークショップの内容は毎月変わります。
※申込み方法や詳しいイベント情報は当館ホームページをご確認ください。



おやこでトーク おとなもトーク

展示室でおこなう、対話による鑑賞プログラムです。作品をみて感じたことをみんなでおしゃべりしながら楽しみましょう。

2023年5月-2024年3月までの奇数月第4土曜日

●おやこでトーク 10:00-11:00

対象 | 小学生以下の子どもとその保護者

●おとなもトーク 14:00-15:00

対象 | 中学生以上から大人までどなたでも

※対象の展覧会は毎月変わります。
※申込み方法や詳しいイベント情報は当館ホームページをご確認ください。

■交流展

県内各地域の美術館と共に、双方のコレクションを活用し、協働で企画・立案・実施する展覧会です。地縁ある作家たちの作品を中心に展示し、各館の特色を打ち出すことで、地域の魅力を改めて感じてもらうことを目指します。また、学芸員の交流を通じて、県内美術館との連携を深めることがねらいです。

長野県立美術館交流名品展

日本の真ん中で美がひろく

辰野美術館との共同開催となる本展では、両館のコレクションから辰野町、南信地域にゆかりの深い作品を中心にご紹介いたします。



中川紀元(アラハセキ)1921年 辰野美術館蔵

2023年10月7日[土]—11月26日[日]

休館日 | 月曜日(但し、10/9は開館し、翌平日の10月10日は休館)

会場 | 辰野美術館
〒399-0425
長野県上伊那郡辰野町樋口2407-1

観覧料 | 一般600(500)円、高校生以下無料
※()内は20名以上の団体割引

主催 | 辰野町、辰野美術館
共催 | 長野県、長野県立美術館

■移動展

長野県立美術館では、当館のコレクションをより多くの方にお楽しみいただくため、1979(昭和54)年から県内各地の自治体・施設からの公募により「移動展」の開催を行ってきました。2023年度は、伊那文化会館と南牧村を会場にして移動展を開催します。

① 2023年度長野県立美術館移動展in伊那文

当館NAMコレクション展の1期分の内容を、ほぼそのままに伊那文化会館で展示します。2023年は全6期から構成されるコレクション展のうち、第III期の出品作を中心に展示する予定です。

2023年10月28日[土]—12月3日[日] 月曜休館

会場 | 長野県伊那文化会館 美術展示ホール

観覧料 | 大人500(400)円、大学生・75歳以上300(200)円、
高校生以下無料
※()内は20名以上の団体割引 ※身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳をお持ちの方と、付き添い1名は無料

主催 | 長野県、長野県立美術館、長野県伊那文化会館
共催 | 伊那市、伊那市教育委員会、長野県教育委員会

② 2023年度長野県立美術館移動展in南牧村

今年度は雄大な八ヶ岳連峰の裾野に位置する南牧村にて開催します。自然豊かな野辺山高原など佐久地域を中心に、信州の風景を描いた秀作の数々や、地元ゆかりの美術家たちの作品をご紹介します。

2023年10月21日[土]—11月3日[金・祝] 月曜休館

会場 | 南牧村美術民俗資料館 観覧料 | 無料

主催 | 長野県、長野県立美術館、南牧村、南牧村教育委員会

展示室1	4/9 発見された日本の風景展	22 NAMコレクション2023 新収蔵品展 18	1 27	9 5	25 18	16 5/12
展示室2		22 超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA 18	1 信濃毎日新聞社創刊150周年記念特別展 葛飾北斎と3つの信濃～小布施・諏訪・松本～	9 とびたつとき 一池田満寿夫とデモクラートの作家	25 庵野秀明展	16 春陽会誕生100年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ
展示室3						
コレクション展示室	NAMコレクション 2023 第Ⅰ期 16 18	NAMコレクション2023 第Ⅱ期 25 27	NAMコレクション2023 第Ⅲ期 19 21	NAMコレクション2023 第Ⅳ期 28 30	NAMコレクション2023 第Ⅴ期 13 15	NAMコレクション2023 第Ⅵ期 23
アートラボ	2022 第Ⅳ期 ひらくツール ふれるはなすあく 齋藤名穂×長野県立美術館 9 13	第Ⅰ期 中ハシクシゲ 1 5	第Ⅱ期 光島貴之 24 3	第Ⅲ期 廣瀬智央 12 17	第Ⅳ期 金箱淳一 5/14	
オープンギャラリー		15 第Ⅱ期みんなのアートプロジェクト成果展 10 細井美裕・比嘉了(仮)	14	公開制作vol.3 蓮沼昌宏 4		

企画展

超絶技巧、未来へ！ 明治工芸とそのDNA

2023.4/22[土]—6/18[日] 会場|展示室2・3

観覧料|一般1,400円、大学生1,200円、
高校生以下又は18歳未満無料

超絶技巧を駆使した明治工芸再評価の機運が、近年益々高まっています。本展では、近代の名工の作品に加え、そのDNAを受け継ぐ、技術とセンスを合わせ持つ現代作家の新作を中心に紹介します。陶芸、木彫、金工、切り絵、ガラス、ペーパークラフトなど、様々な技法から生み出された、未来へとつながる超絶技巧の世界に迫ります。

主催|長野県、長野県立美術館、SBC信越放送
共催|長野県教育委員会、信濃毎日新聞社
協力|清水三年坂美術館
監修|山下裕二(明治学院大学教授)
企画協力|広瀬麻美(浅野研究所)



大竹亮峯《月光》2020年

信濃毎日新聞社創刊150周年記念特別展 葛飾北斎と3つの信濃 ～小布施・諏訪・松本～

2023.7/1[土]—8/27[日]

※展示替えあり 前期:7/1[土]—7/30[日]、
後期:8/3[木]—8/27[日]

会場|展示室1・2・3

観覧料|一般1,600円、高校生・中学生800円、
小学生以下無料

日本を代表する絵師・葛飾北斎は、印象派に強い影響を与えたこともあって、世界に知られる巨匠です。この北斎が信濃と深い関わりを持つ画家であることはあまり知られていません。本展では、北斎に縁のある信濃の地、小布施・諏訪・松本の3つの地域と北斎の関わりに焦点を当てながら、肉筆画や浮世絵版画の名品を通して北斎画業の全貌を紹介し、北斎にとっての信濃とは何であったのかを探っていきます。

主催|長野県、長野県立美術館、信濃毎日新聞社、
(公財)信毎文化事業財団
共催|長野県教育委員会、信越放送
特別協力|北斎館、すみだ北斎美術館、日本浮世絵博物館、
諏訪市博物館、岩松院、NTT ArtTechnology、アルステクネ
監修|安村敏信

葛飾北斎《富士越龍》1849年 北斎館蔵



とびたつとき 一池田満寿夫とデモクラートの作家

2023.9/9[土]—11/5[日] 会場|展示室1・2・3

観覧料|一般800円、大学生及び75歳以上600円、高校生以下又は18歳未満無料

マルチタレント・アーティストとして一世を風靡した池田満寿夫が1997年に亡くなって四半世紀がたとうとしています。本展では、池田満寿夫の作品を軸に、池田が交流し影響を受けた作家の作品により、1950年代から1970年頃までの世界を席巻した日本の版画をふりかえり、その意義を再考します。郷土が生んだ世界的版画家の作品世界をお楽しみください。

主催|長野県、長野県立美術館
共催|長野県教育委員会
協力|広島市現代美術館、
和歌山県立近代美術館



池田満寿夫《愛の瞬間》1966年 広島市現代美術館蔵

庵野秀明展

2023.11/25[土]—2024.2/18[日]

会場|展示室1・2・3

観覧料|[前売券]一般1,500円、大学生・高校生1,200円

[当日券]一般1,700円、大学生・高校生1,400円、中学生以下無料

総監督を務めた『シン・エヴァンゲリオン劇場版』が興行収入100億円を超える大ヒットとなった庵野秀明。本展では、アニメーター時代に参加した過去作品や、監督、プロデューサーとして活躍する最新の仕事までを網羅し、創作活動の秘密に迫ります。庵野秀明の原点となった「アニメ」「特撮」作品の貴重な原画やミニチュアなど、多彩な制作資料を余すところなくご紹介いたします。

庵野秀明展

HIDEAKI ANNO EXHIBITION

主催|長野県、長野県立美術館、TSBテレビ信州
共催|長野県教育委員会
協賛|DNP大日本印刷
企画|庵野秀明展実行委員会
企画協力|カラー/グラウンドワークス:/アニメ特撮アーカイブ機構

春陽会誕生100年 それぞれの闘い 岸田劉生、中川一政から岡鹿之助へ

2024.3/16[土]—5/12[日] ※展示替えあり 会場|展示室1・2・3

観覧料|一般800円、大学生及び75歳以上600円、高校生以下又は18歳未満無料

春陽会は1922年に、再興院展洋画部から脱退した小杉未醒、山本鼎、森田恒友らと、草土社の岸田劉生らを中心としたメンバーにより、洋画界を代表する第3の団体として設立されました。形式に左右されず、画家の志向を尊重する自由さと、油彩だけでなく、素描、挿画、版画といった多様なジャンルの展示を特徴としており、他団体とは異なる展開を遂げられました。本展では、創立からの春陽会展出品作を中心とした約100点をご紹介します。



主催|長野県、長野県立美術館
共催|一般社団法人 春陽会

木村荘八
《河岸夜(明治一代女)》
1936年頃
東京ステーションギャラリー蔵

アートラボ2023

観覧料|無料 主催|長野県、長野県立美術館

視覚以外の感覚も使った鑑賞が可能な作品を展示する「アートラボ」。誰でも立ち寄り、新たな発見が生まれる場となることを目指しています。触れて、見て、聞いて、アートを楽しんでみませんか。

第Ⅰ期 中ハシクシゲ

5/13[土]—8/1[火]

第Ⅱ期 光島貴之

8/5[土]—10/24[火]

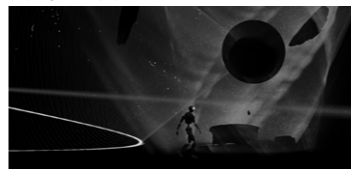
オープンギャラリー

観覧料|無料 主催|長野県、長野県立美術館

第Ⅱ期みんなのアートプロジェクト 成果展 細井美裕・比嘉了(仮)

2023.7/15[土]—9/10[日]

交流スペースのためのコミッションワーク事業「第Ⅱ期みんなのアートプロジェクト」の成果展示として細井美裕・比嘉了による新作を展示します。



「第Ⅱ期みんなのアートプロジェクト」成果作品
イメージ

第Ⅲ期 廣瀬智央

11/3[金・祝]—2024.2/12[月・祝]

第Ⅳ期 金箱淳一

2024.2/17[土]—5/14[火]

公開制作 vol.3 蓮沼昌宏

2023.10/14[土]—2024.2/4[日]

絵画や写真、手回しの動画装置キノーラによるアニメーションなどを手掛ける蓮沼昌宏を招へいます。



《ノーラーパネル象》2022年

NAMコレクション2023

菱田春草、荻原碌山ら信州出身の作家たちや、信州の風景が描かれた作品を中心に形成された、長野県立美術館のコレクション。1年をかけて、洋画・日本画・工芸など、様々なジャンルの収蔵品を展示します。

会場|コレクション展示室

Ⅰ期 2023
3/16[木]—5/16[火]

Ⅱ期 2023
5/18[木]—7/25[火]

Ⅲ期 2023
7/27[木]—9/19[火]

Ⅳ期 2023
9/21[木]—11/28[火]

Ⅴ期 2023
11/30[木]—2024
2/13[火]

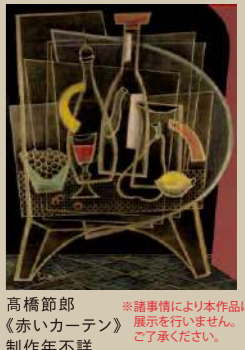
Ⅵ期 2024
2/15[木]—4/23[火]



菱田春草
《伏姫(常磐津)》
1900年



吉田博
《剣山の朝(『日本アルプス十二題』より)》
1926年



高橋節郎
《赤いカーテン》
制作年不詳

※諸事情により本作品は
展示を行いません。
ご了承ください。

NAMコレクション2023 新収蔵品展

近年新たに収蔵された作品を展示します。

2023.4/22[土]—6/18[日]

会場|展示室1



野見山暁治《もっと遠くへ行こう》2016年

観覧料|本館・東山魁夷館共通 一般700円、大学生及び75歳以上500円

●ギャラリートーク 各日14:00～

4/15[土]、6/17[土]、8/19[土]、10/21[土]、12/16[土]、2024.2/17[土]